

糸電話

教育相談課だより
平成30年9月18日
第10号



「育てる教育相談」って? ～問題行動を未然防止! 育てる教育相談研修講座～

「問題行動を未然防止! 育てる教育相談研修講座」第1日を6月29日に行いました。

「育てる教育相談」という考え方が学校に広まっています。これまで教育相談というと①問題を解決する「問題解決的・治療的教育相談」、②問題を未然に防ぐ「予防的教育相談」が主でした。この講座のタイトルになっている「育てる教育相談」とは、学校の教育活動全体を通して行う「発達促進的・開発的教育相談」のことで、日々の学校生活の中で、問題行動を起こしにくい個や集団を育てる教育相談をいいます。個が育つ集団を育てることに焦点を当てたこの講座は今年で2年目を迎えました。

学校では子供を理解するために、観察、聞き取り、アンケート、心理テスト(Q-Uも含む。)など、様々なアセスメントをしています。その一方、その結果をどう分析し、その後の教育相談や生徒指導の方向性につなげるにはどうしたらよいかという声も聞かれます。そこで、午前は、茨城大学大学院教授の渡部玲二郎先生に「集団のアセスメントとその対応」について講義をしていただきました。



上: アセスメントについて講義をする
茨城大学大学院 渡部玲二郎先生

午後は学級の雰囲気づくりの手法の一つとして、アドラー心理学を応用した「クラス会議」の演習を行いました。



ウォーミングアップを通して右の写真のように、和やかな雰囲気になりました。



トーキングスティック

初めて出会った受講者もウォーミングアップにより、徐々に打ち解けます。ウォーミングアップはとても大切です。クラス会議の演習では、提案者が出した議題についてみんなが解決策を伝えます。これにより、提案者がみんなに支えられている気持ちになります。また、発言者を尊重するためにトーキングスティックを用意します。この分散会では、手触りがよく、持っているとう安心感があることから、ぬいぐるみを用意しました。「意見を安心して言えました。集団の中での自分の存在感が自然と心にわいてきたのが分かりました。」「演習から感じ取った雰囲気のよさが最大の学びです。」と受講者の皆さんは述べていました。

☆受講者の感想(アンケートより)☆

・学級経営を行う中で、集団に対するアプローチに関心をもっていた。講義を聴いて、数値的なアセスメントが不足していたことに気付き、その必要性を痛感した。さらにアセスメントに基づいた対応を学びたい。

・現在、実施しているアセスメントの結果をどう活用していくのか学校全体で考え、研修していく重要性を感じた。

・集団の雰囲気づくりにも力を入れようと思った。生徒のクラスへの帰属意識が薄いのでクラス会議を取り入れてみたい。

・学級の雰囲気をつくるためには場の設定が大事だと改めて感じた。ルールや話の聴き方などすぐにはできないことではないが日々の生活の中で育てていきたい。

なお、「クラス会議」は、特別活動の話合いとは別のものです。クラス会議での議題と、学級活動(1)の議題との違いを踏まえてください。